

注部位を遺残無く部分切除すると10日目に切除しても肝転移を認めず自然発生的な肝転移モデルを作製できた。このモデルは肝転移抑制に対する脾臓の役割をみるのに有効である。

#### 56. Mel-18 遺伝子産物の解析

長谷川正行 (千大)

Mel-18 の遺伝子産物は、転写抑制因子であり、c-myc と協同作用する bmi-1 や、Drosophila の polycomb グループ遺伝子群と高いホモロジーを示すことが判明している。順向きである Sense の Mel-18 遺伝子と逆向きである Anti-sense の Mel-18 遺伝子を NIH3T3 に移入した細胞株を樹立した。この細胞を用いて、発癌調節における機能の解析を行なったところ、Mel-18 遺伝子産物が発癌抑制作用を有することが示唆された。

#### 57. 気管支動脈の走行に関する解剖学的研究

—食道癌手術における温存のために—

舟波 裕 (千大)

食道癌手術における気管・気管支の血液温存を目的として、肉眼解剖では剖出しきれない微細な気管支動脈の走行を検討した。成人遺体より摘出した肉眼解剖学研究用標本である縦隔7例の気管支動脈に造影剤を注入して行った Digital Subtraction Angiography (DSA) による検討では、全例で気管前面に各気管支動脈を互いにつながり動脈の net-work pattern (NWP) が描出された。肋間気管支動脈のみから造影剤を注入すると大動脈と気管頭側の動脈からの分岐枝が描出され、各気管支動脈は NWP を通じて互いに交通していた。気管周囲を被う気管固有鞘を除去した後に行った DSA 像では、NWP は破壊されていた。気管支動脈に墨汁を注入して行った組織学的検討では、NWP は気管前面を被う結合組織に観察された。以上から手術中に肋間気管支動脈と気管前面の NWP を温存すれば、他の気管支動脈を損傷しても気管・気管支の血液は温存できる可能性が高いと考えられた。

#### 58. レトロウイルスを用いた遺伝子療法の基礎的検討

島田英昭 (千大)

組み替えレトロウイルスにより、ドナータイプの MHC 遺伝子をレシピエント骨髄細胞に移入することで、ドナー MHC 抗原特異的な免疫寛容状態を誘導することに成功した。マウス B10, AKM をレシピエント、B10 MBR をドナーとして、ドナー Kb 遺伝子をレシピエント骨髄細胞に移入した。3rd party の皮膚移植

片と比較して葉明な生着延長効果を認めた。ミニプタ MMC DRB 遺伝子の移入及び腎移植実験を現在施行中である。

#### 59. Dextran を中間支持体とした monoclonal 抗体—carboplatin conjugates の作成とその性状—

竹田明彦, 西島 浩, 荻野幸伸  
室谷典義, 川平 洋

(千葉社会保険)

Dextran を中間支持体として monoclonal 抗体 1B2 に carboplatin を結合させた重合体 (conjugates) を作成しその性状について検討した。結果：①重合効率は抗体に結合した dextran の量に依存して向上し最大重量比 1 : 626 という結果を得た。この重合比は架橋剤の添加量に関係なく、以後最少量を用いた。② colony formation 法により重合操作による抗腫瘍活性の低下は認めなかった。③ ELA 法により重合操作後の抗体活性は保持されていた。

#### 60. 消化器癌における Tl-SPECT の有用性について

山田 滋, 高山 亘, 太田 真  
山本 宏, 渡辺一男

(千葉県がんセンター)

われわれは直腸癌再発の診断および肝胆道系腫瘍の診断に 201Tl-SPECT が期用であることを報告してきた。今回その検査法も確立したので報告する。直腸癌術後22例・S状結腸癌術後3例において 201Tl-SPECT を施行した。直腸癌およびS状結腸癌の再発診断の正診度は92%と高く Tl-SPECT は再発巣の診断に有用であった。また肝胆道系疾患17例において Tl-Tc subtraction SPECT を施行した。悪性腫瘍16例中14例に陽性画像とし描出可能であった。さらに放射線治療後の効果判定にも有用であった。

#### 61. 肝癌診断における CT Arterial Portography の有用性

山本 宏, 渡辺一男, 高山 亘  
山田 滋, 太田 真

(千葉県がんセンター)

Computed tomographic arterial portography (CT-AP) は門脈腫瘍栓を有する肝細胞癌において腫瘍栓のある門脈に支配される肝領域を評価でき、術式想定に有用である。また、転移性肝癌においては Dynamic CT